

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 鈴茂器工株式会社

コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小根田 育治

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 志賀 融

TEL 03-3993-1371

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,679	12.1	682	22.2	682	21.0	311	△9.1
28年3月期第2四半期	4,174	5.0	558	7.9	564	7.7	343	12.3

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 292百万円 (△14.2%) 28年3月期第2四半期 340百万円 (8.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	51.48	—
28年3月期第2四半期	56.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,839	8,878	81.9
28年3月期	10,407	8,677	83.4

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 8,878百万円 28年3月期 8,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	3.9	1,300	2.2	1,300	1.4	690	△11.5	113.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	6,060,000 株	28年3月期	6,060,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	2,521 株	28年3月期	2,401 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	6,057,559 株	28年3月期2Q	6,057,676 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外需とも力強さを欠く状況が続いており、景気は足踏みが長期化しております。内需では個人消費の回復は依然弱く、外需では世界的な景気の減速や円高の影響を踏まえると、当面はマインドや企業収益の悪化などを通じて、下振れしやすい状況となっております。

外食産業につきましては、個人消費の低迷や夏場の天候不順により全体的な売上は横這いとなる一方、人手不足は慢性化しており、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループとしては、お客様にとって満足度が高く、いち早くご相談・ご用命いただける会社として「ファーストコールマシナリー」になること、そして「信頼され、信頼に応えられる企業」を目指し、高付加価値製品の開発や、更なる販売体制の強化を行ってまいりました。

販売状況につきましては、主力製品である店舗向け小型ロボットや大型機をベースに、お客様のニーズに沿った営業活動を展開してまいりました。その一環といたしまして、国内では、当社独自の展示会「スズモフェア」を計画通り開催いたしました。海外につきましては、寿司文化の浸透を世界に働きかけるため、大規模な国際展示会に参加するとともに海外販売店との円滑な展開を収めました。

子会社では、株式会社セハー日本は、アルコール系洗浄剤や離型油等の販売拡大を積極的に展開し、Suzumo International Corporation (SIC) は、新たに開設した米国ニュージャージー州の東部支店を含め、小型ロボットを中心に積極的な販売活動を行いました。また、Suzumo Singapore Corporation (SSC) は、他のアセアン地域を含む現地ユーザーとのパートナーシップを通じて積極的に高品質なサービスを展開いたしました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間における売上高合計は46億79百万円(前年同期比12.1%増)となりました。また、利益につきましては、営業利益6億82百万円(前年同期比22.2%増)、経常利益6億82百万円(前年同期比21.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億11百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(米飯加工機械関連事業)

米飯加工機械関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は43億69百万円(前年同期比12.8%増)、営業利益は6億75百万円(前年同期比22.7%増)となりました。

(衛生資材関連事業)

衛生資材関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は3億9百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は6百万円(前年同期比11.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億31百万円増加し108億39百万円となりました。これは主に、投資有価証券が74百万円、たな卸資産が25百万円減少した一方で、現金及び預金が5億74百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億30百万円増加し19億60百万円となりました。これは主に、退職給付に係る債務が1億66百万円、賞与引当金が1億3百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加し88億78百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により90百万円減少したこと、および親会社株主に帰属する四半期純利益により3億11百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値につきましては、平成28年5月16日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付債務の計算方法に係る見積りの変更)

当社は、第1四半期連結会計期間より、退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更は、従業員数が増加したことに伴い、退職給付債務の金額の算定の精度を高め、退職給付費用の期間損益計算をより適正化するために行ったものであります。

この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間の期首における退職給付に係る負債が143,260千円増加し、同額を特別損失として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,840,174	4,414,828
受取手形及び売掛金	1,195,766	1,207,165
たな卸資産	1,378,639	1,352,767
繰延税金資産	90,172	88,314
その他	40,602	48,928
流動資産合計	6,545,354	7,112,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,683,735	1,647,237
土地	983,856	983,856
その他(純額)	230,018	217,522
有形固定資産合計	2,897,610	2,848,615
無形固定資産	110,760	108,667
投資その他の資産		
投資有価証券	508,154	434,092
繰延税金資産	149,840	142,806
その他	207,944	205,703
貸倒引当金	△11,895	△12,650
投資その他の資産合計	854,044	769,952
固定資産合計	3,862,416	3,727,235
資産合計	10,407,770	10,839,239
負債の部		
流動負債		
買掛金	393,322	405,232
未払法人税等	250,151	209,923
賞与引当金	144,564	247,866
その他	392,989	370,939
流動負債合計	1,181,028	1,233,962
固定負債		
繰延税金負債	1,809	1,543
役員退職慰労引当金	13,001	14,151
退職給付に係る負債	429,006	595,495
その他	105,394	115,160
固定負債合計	549,211	726,352
負債合計	1,730,239	1,960,314

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	614,508	614,508
資本剰余金	443,050	443,050
利益剰余金	7,543,253	7,764,248
自己株式	△2,586	△2,731
株主資本合計	8,598,224	8,819,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,583	72,521
為替換算調整勘定	22,722	△12,671
その他の包括利益累計額合計	79,306	59,850
純資産合計	8,677,531	8,878,925
負債純資産合計	10,407,770	10,839,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,174,425	4,679,139
売上原価	2,263,139	2,461,808
売上総利益	1,911,286	2,217,331
販売費及び一般管理費	1,353,108	1,535,077
営業利益	558,178	682,254
営業外収益		
受取利息	1,461	1,692
受取配当金	1,294	2,339
為替差益	1,830	—
その他	2,094	2,112
営業外収益合計	6,681	6,144
営業外費用		
支払利息	33	—
手形売却損	19	24
売上割引	443	1,319
為替差損	—	4,178
その他	—	14
営業外費用合計	495	5,537
経常利益	564,363	682,861
特別損失		
退職給付費用	—	143,260
特別損失合計	—	143,260
税金等調整前四半期純利益	564,363	539,600
法人税等	221,264	227,741
四半期純利益	343,098	311,859
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	343,098	311,859

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	343,098	311,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,511	15,938
為替換算調整勘定	3,112	△35,394
その他の包括利益合計	△2,398	△19,456
四半期包括利益	340,699	292,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	340,699	292,403
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。